



やまな

袋井市立山名小学校
学校だより No.13
令和3年12月10日発行

1日延期となりましたが、比較的風が少なく穏やかな天候の中、12月2日(木)に持久走大会を実施することができました。

この日に向けて、目標を掲げ、2校時と3校時の業間や体育科の授業で練習を重ねてきました。

大会当日には、苦しくても足を止めることなく走り続ける子、前を走る友達の背中を必死に追いかける子など、ゴール目指して一生懸命に頑張る子供たちの姿がありました。

保護者の皆様から、熱い応援や温かい励ましの声掛けをいただきました。ありがとうございました。

2学期も残りわずかとなりました。各学年に応じて、生活や学習のまとめをしていきます。引き続き、御理解・御協力をお願いいたします。



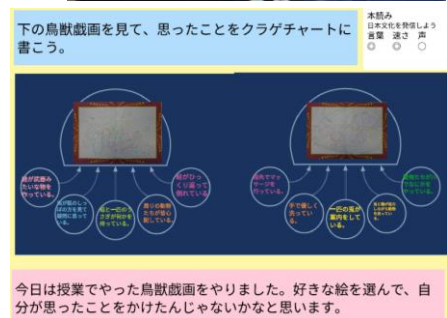
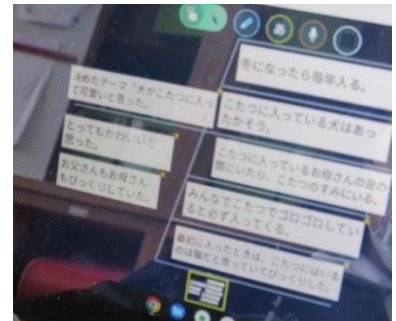
【思考スキル・ツールの活用】

昨年度と同様に、本校では、「考える力」を育成するために、思考スキル・ツールを活かした授業を行っています。この授業実践は、袋井市全体で進めています。一口に「考える」といっても、「比較する」「順序立てる」「理由づける」「分類する」「推論する」「多面的・多角的に見る」「構造化する」「評価する」などの、いろいろな考え方があります。この考え方が「思考スキル」であり、考えを作り整理する図のようなものが「思考ツール」です。

4年生の国語科「感動を言葉に」では、まず、イメージマップを使い、思いや考えを広げて詩のテーマを決定しました。次に、くまでチャートを用い、テーマを様々な視点から捉えていきました。そして、最後にそれをもとに、詩を書いていきました。

低学年でも、全ての授業ではありませんが、思考スキルに合わせた思考ツールを使って学習を進めています。学年が上がるにつれて、児童一人一人が学習課題解決に向けて、思考ツールを自分で選択できることを目指しています。家庭学習においても、自分で思考ツールを選択して、考えを整理し深めているノートが見られます。

今後も、思考ツールを活用し、思考スキルを高めていきます。



今日は授業でやった鳥獣戯画をやりました。好きな絵を選んで、自分が思ったことをかいたんじゃないかなと思います。

【地域で取り組む漢字検定について】

11月に漢字検定についての便りを配付しました。この検定は、「地域全体で取り組む漢字検定!」として、周南たちばな学園が全国のモデル地区になっています。令和4年1月29日(土)に周南中学校にて行われます。子どもだけでなく、どなたでも受検可能です。ぜひ、お子さんと一緒にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。12月17日(金)までに、検定料を添えて学校事務室、または山名コミュニティセンターまでお申し込みください。

【転出する場合は早めにお知らせください】

次年度、転出する可能性がある場合も含め、早めに学級担任に連絡をお願いいたします。

【山名小のホームページについて】

ホームページのURLが新しくなりました。「<https://yamana-e.fukuroi.ed.jp>」です。子どもたちの日々の生活の様子をお知らせしていきます。

【令和3年度学力・学習状況調査から見える山名小の子どもの学力・学習状況】

1 調査の概要

袋井市では、全国学力・学習状況調査に加え、小学校5年生と中学校2年生を対象に、袋井版学力・学習状況調査を導入しています。全国学力・学習状況調査は、公立の小中学校のすべてが対象ですが、袋井版学力・学習状況調査は、希望する学校や自治体で行われるものであり、対象児童生徒数が限られたものとなります。

以下、今年度4月に実施された結果を掲載しましたので、御覧ください。なお、全国平均正答率を100とした指数で数値を表しています。

《全国学力・学習状況調査》

・全国一斉に文部科学省が小学6年、中学3年を対象とし、毎年4月中旬に国語と算数・数学、理科(3年に1回)の3教科や生活習慣等について調査を実施しています。

《袋井版学力・学習状況調査》

・袋井市独自に、小学5年生と中学2年生を対象とし、4月中旬に国語と算数・数学の2教科や生活習慣等について調査を実施しています。

2 教科に関する調査結果

①全国学力・学習状況調査(小学校6年生)(数値は全国平均正答率を100とした指数)

教科	各教科平均正答率	領域別の平均正答率				
		読むこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴・使い方	
国語	全体					
静岡県	100	100	100	103	98	
山名小	100	102	105	100	98	
算数	全体	数と計算	図形	測定	変化と関係	データ活用
静岡県	99	99	97	101	98	100
山名小	99	102	96	95	99	101

②袋井版学力・学習状況調査(小学校5年生)(数値は全国平均正答率を100とした指数)

教科	各教科平均正答率	領域別の平均正答率				
		読むこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴・使い方	
国語	全体					
袋井市	94	96	83	90	97	
山名小	96	97	83	91	99	
算数	全体	数と計算	図形	変化と関係	データ活用	
袋井市	89	88	87	98	86	
山名小	93	93	90	100	93	

●課題と○成果

- 【国語】●「短答式」(漢字)の習熟度不足や、語彙の少なさが課題です。普段の学習時に、既習の漢字を多用するなど、意図的、意識的に取り組み、書く力の向上を目指します。
- 「解答を文章で書く」ことに関して、あきらめずに最後まで粘り強く書いたと判断した児童が多いです。
- 【算数】●問われていることに関して、的確に答えることが課題です。必要な情報を見つけて、活用しながら自分の考えを見出す取組を継続していきます。
- 「言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く」ことに関して、自分の考えを粘り強く書こうとしたと判断した児童が多いです。
- 【その他】○無回答率が低いです。これらは、普段の授業の中で、まとめや振り返りなどの「自分の考えを書く」活動を継続的に取り入れている取組が形になっていると思われます。
- 「国語や算数の学習は大切だと思う。」「将来社会で役に立つ。」と考えている児童が多いです。そのため、学習に対する意欲は高いと思われます。
- 「ICT機器は勉強の役に立つ」と考えている児童が多いです。今後もICTを活用しながら、自分の考えをもち、仲間と交流してより考えを広げたり深めたりする授業改善への取組を進めていきます。